

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

### ① 三者評価機関名

特定非営利活動法人  
ぎふ福祉サービス利用者センターびーすけっと

### ② 業者情報

名 称：岐阜県立サニーヒルズみずなみ	種別：指定障害者支援施設
代表者氏名：森藤由幸	定員（利用人数）：50（52）名
所 在 地：瑞浪市陶町猿爪657-34	TEL 0572-65-3322

### ③ 総 評

#### ◇特に評価の高い点

県の福祉の中核的存在として、法人が運営している全15施設は、県の指定管理者制度の指定を受けており、当該施設はその一つである。法人の中長期計画に則って各種マニュアルの整備、人材育成、経営等、組織的にサービスの向上をめざした運営が行われている。

利用者満足度調査を実施し、利用者の思いを出来る限り支援するために、改善推進委員会で検討し、改善につなげていく取り組みがある。利用者の要望の高かった外出は、日帰り旅行や地域行事の参加に加えて、買い物、ドライブ、喫茶等のプチ外出や、利用者と職員が1対1で向き合うペア活動で、外出の機会の充実に努めている。また、入浴がこれまでの集団的一般浴から、障害の特性に合わせた設備による個浴での支援で週2回から3回となり、利用者満足度を高めている。

利用者一人ひとりの個別支援留意事項が記載されたファイルが全職員に渡され、支援の統一化とリスク管理が図られている。業務上でのヒヤリハットに対して、すぐにその状況を記録し、職員間で共有するしくみが出来ている。虐待防止委員会が設けられており、全職員が利用者の人権に対する意識を高めている。

地域の福祉ニーズに応じて、重度心身障がい児・者支援の日中一時支援事業、短期入所サービス等地域に目を向けた取り組みに努め、看護師の増員を図り利用者の安心、安全につながる生活支援の体制も強化されている。

◇改善を求められる点

利用者の高齢化・重度化により、今まで以上に利用者への安全確保や、暮らしの中での制約が出てくることで、職員の負担も大きくなってきている。法人全体の職員満足度調査では職員が「業務上のストレスを感じている」項目が他の項目より比率が高い結果が出ている。ストレスの要因を明確にし、職員がバーンアウトにならない前にその対策を講じられたい。

法人の実績と施設の専門性を活かし、地域の福祉機関として地域住民への相談機関としての役割に期待したい。また、地域福祉の中核を担う存在として、障害分野の枠を超えた地域の福祉ニーズの積極的な掘り起しと実践に期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

サニーヒルズみずなみにおいても「業務上のストレスを感じている」項目の比率が高いという結果でした。職員が相談できるシステムはあるので、有効的な運用を図ります。また、日常業務の中で職員の声かけ等で気配りをかかさないようにします。

地域の障害福祉の拠点として信頼されているので、専門性を活かし、福祉ニーズの掘り起し、サービスの提供を行います。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）